

(5 0) 別添資料 50：産卵場所と稚仔魚の成育場所

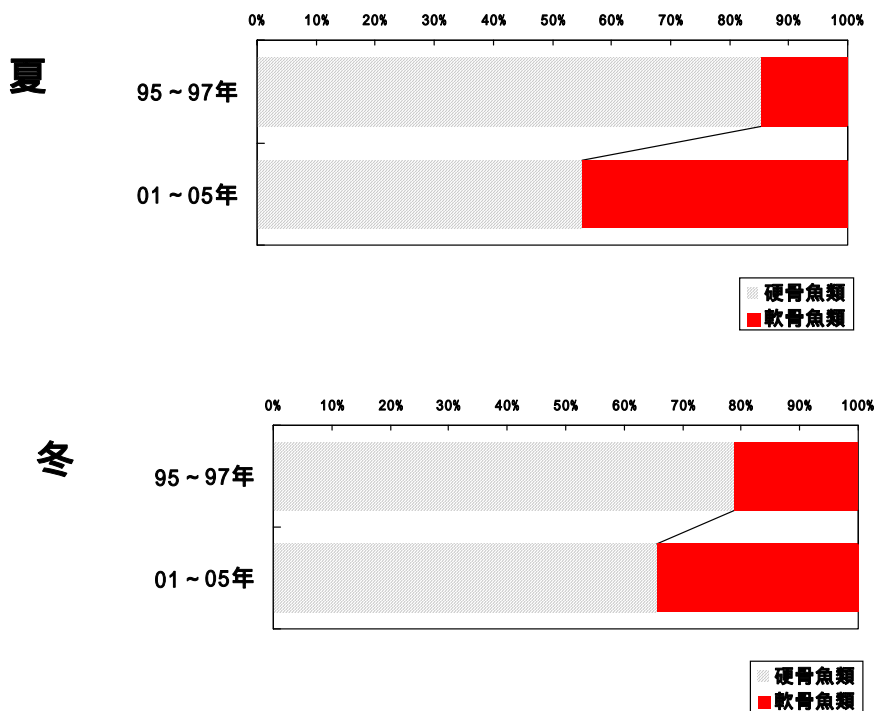


	産卵場	産卵期	稚魚出現場所
クルマエビ	C	5-10月	A,B
ヒラメ	C	5-6月	
アカシタビラメ	A	6 - 8月	A(成魚より浅い)、着底は夏
コウライアカシタビラメ	C	3,4月	A,B
メイタガレイ	C	11~12月	
シログチ	C	6-8月	A
アカエイ	A,B	7,8月	A,B

出典：「第 17 回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 水産資源に関するとりまとめ(2) 主に魚類資源について” [中田委員発表資料]

図 53 産卵場所と仔稚魚の成育場所

(5 1) 別添資料 51：硬骨魚類、軟骨魚類の季節別漁獲量割合

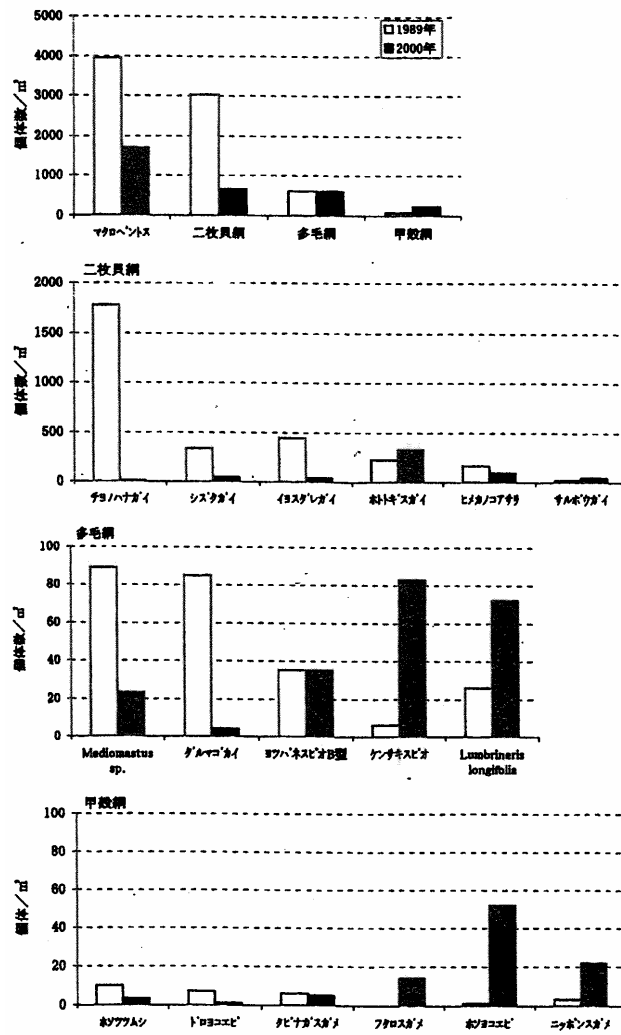


注) 1995~1997年のデータは長崎県水産開発協会の調査結果を用いた。

出典：「第 17 回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-3 有明海の魚類に関する最近の調査結果” [山口委員発表資料]

図 54 硬骨魚類、軟骨魚類の季節別漁獲量割合

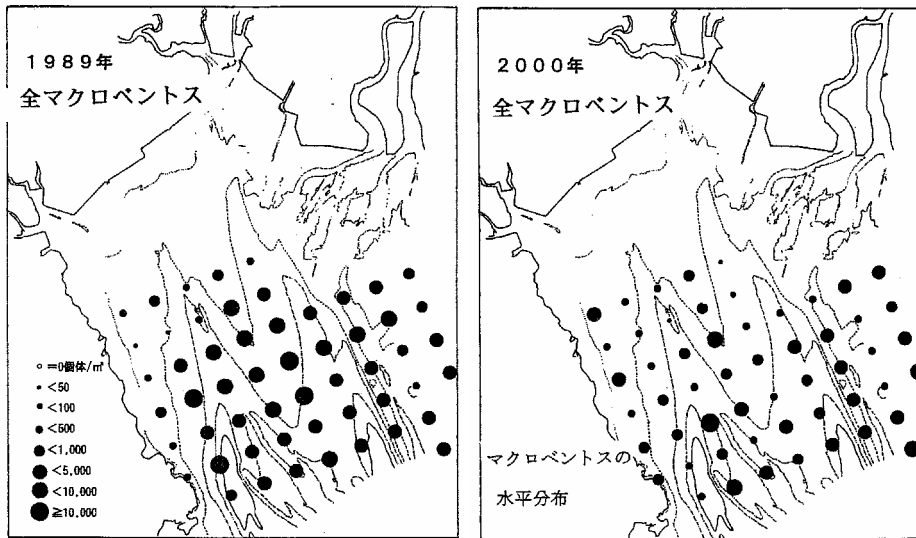
(5 2) 別添資料 52 : 有明海北西部の底生動物調査結果



- 資料 : 1. 古賀秀昭(1991):有明海北西海域の底質及び底生生物, 佐賀県有明水産試験場研究報告, 13号, pp.57-79
 2. 大隈斉, 江口泰蔵, 川原逸朗, 伊藤史郎(2001):有明海湾奥部の底質及びマクロベントス, 佐賀県有明水産振興センター研究報告, 20号, pp.55-62

図 55 有明海北西部の底生動物調査結果

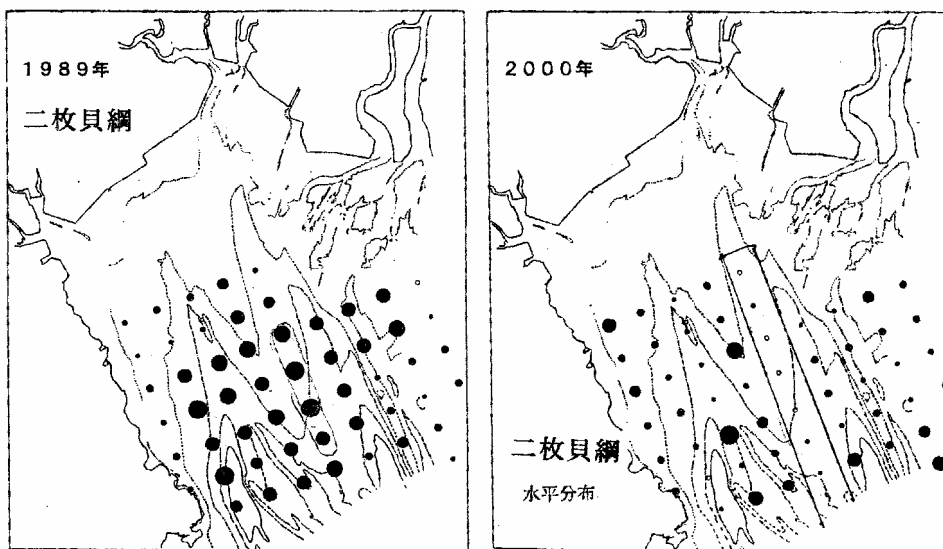
(5 3) 別添資料 53 : 有明海北西部の全マクロベントス分布



- 資料 : 1. 古賀秀昭(1991):有明海北西海域の底質及び底生生物, 佐賀県有明水産試験場研究報告, 13号, pp.57-79
 2. 大隈斉, 江口泰蔵, 川原逸朗, 伊藤史郎(2001):有明海湾奥部の底質及びマクロベントス, 佐賀県有明水産振興センター研究報告, 20号, pp.55-62

図 56 有明海北西部の全マクロベントス分布

(5 4) 別添資料 54 : 有明海北西部の二枚貝分布



- 資料 : 1. 古賀秀昭(1991):有明海北西海域の底質及び底生生物, 佐賀県有明水産試験場研究報告, 13号, pp.57-79
 2. 大隈斉, 江口泰蔵, 川原逸朗, 伊藤史郎(2001):有明海湾奥部の底質及びマクロベントス, 佐賀県有明水産振興センター研究報告, 20号, pp.55-62

図 57 有明海北西部の底生動物調査結果(二枚貝)

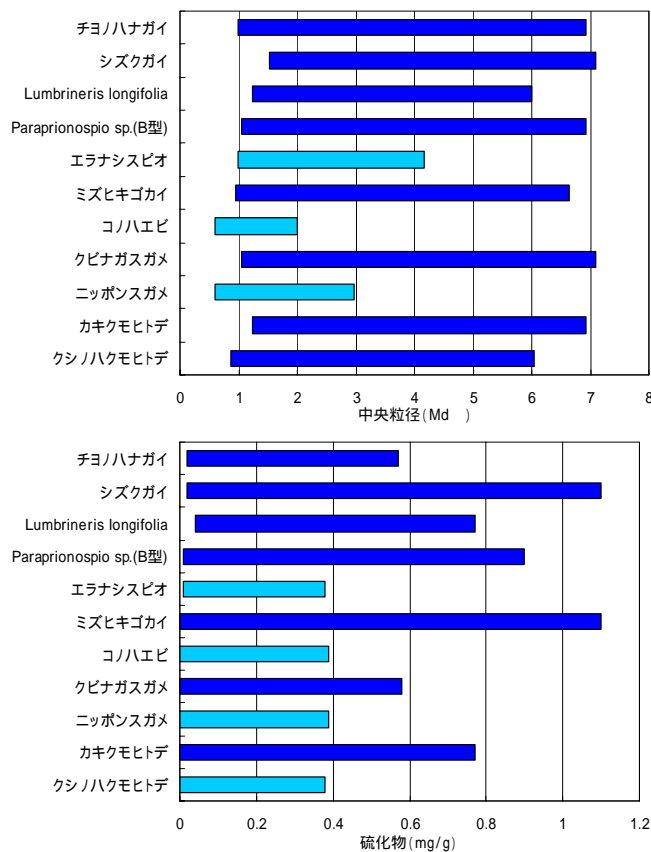
(5 5) 別添資料 55 : 種多様度指数と底質項目の関係

表 4 種多様度指数と底質項目との相関 (2000年調査)

	I.L	AVS	泥分	Md φ
総個体数	-0.400	-0.399	-0.470	-0.450
種数	-0.671	-0.633	-0.712	-0.691
種多様度指数H(s)	-0.600	-0.542	-0.543	-0.527

すべて危険率1%で有意

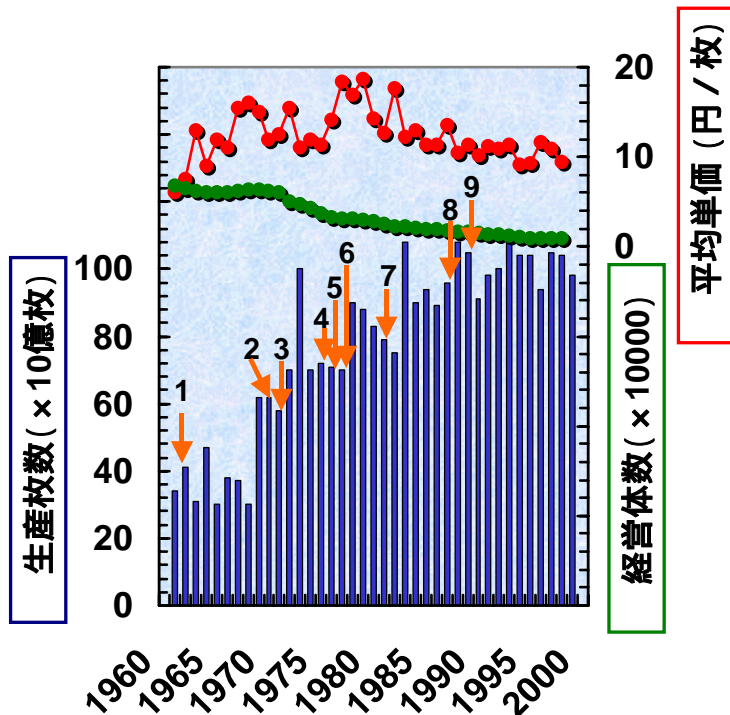
(5 6) 別添資料 56 : 指標種の生息域における粒度組成と硫化物



出典 : 「第 14 回有明海・八代海総合調査評価委員会」“有明海・八代海における底生生物について”
[菊池臨時委員発表資料]

図 58 指標種の生息域における粒度組成(Md)と硫化物の範囲

(57) 別添資料 57: ノリ養殖生産の推移及びノリの主な病気



注) グラフ上の矢印の番号は以下の事象と対応する。

- 1. 人工採苗技術、2. 海苔網冷凍保存技術、3. べた（浮き）流し式養殖、4. 網ヒビ養殖技術、
- 5. 多収性品種、6. 計画生産、7. 大型全自動海苔製造器、8. 協業経営、9. 酸処理技術

出典: 「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」資料-2 有明海の海苔養殖 [鬼頭委員(当時)発表資料]

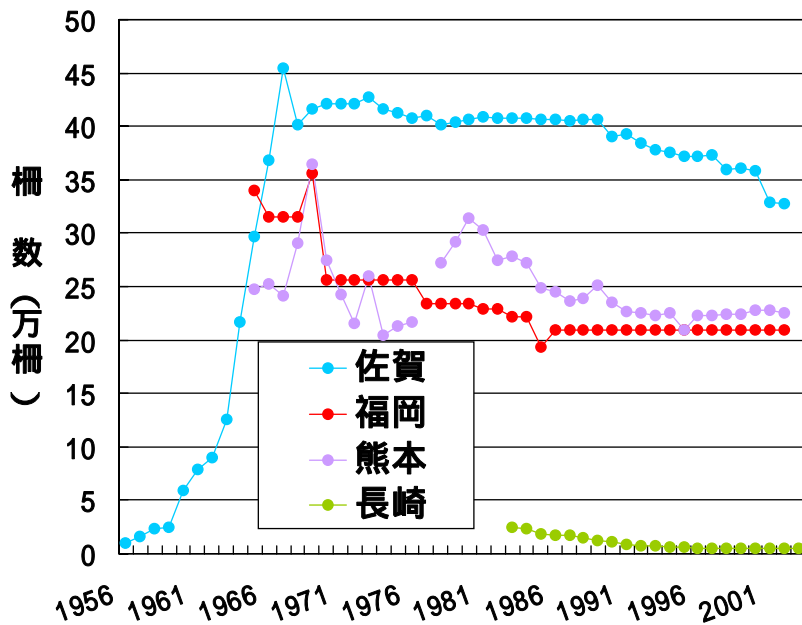
図 59 ノリ養殖生産の推移

表 15 ノリの主な病気

病名	原因	対処
赤ぐされ病	菌類の1種	摘み取り、高吊り
壺状菌病	菌類の1種	(酸処理) 入庫
スミノリ	針状細菌	酸処理
色落ち	植物プランクトン	
バリカン	淡水その他海洋条件	
アオノリ	緑藻の混生	酸処理

出典: 「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」資料-2 有明海の海苔養殖 [鬼頭委員(当時)発表資料]

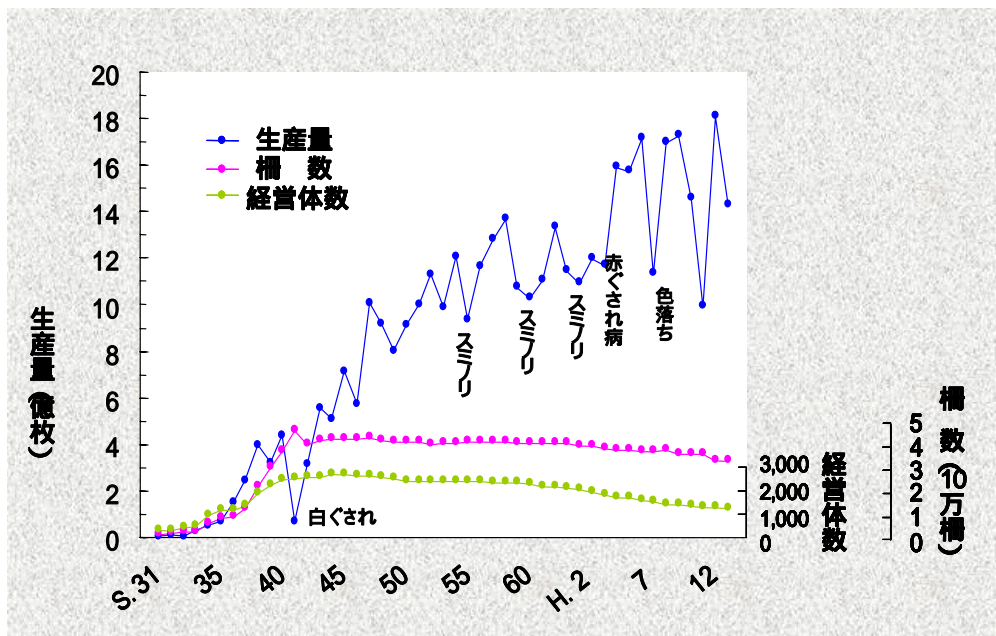
(5 8) 別添資料 58 : 有明海のノリ柵数



出典：「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
[鬼頭委員(当時)発表資料]

図 60 有明海のノリ柵数

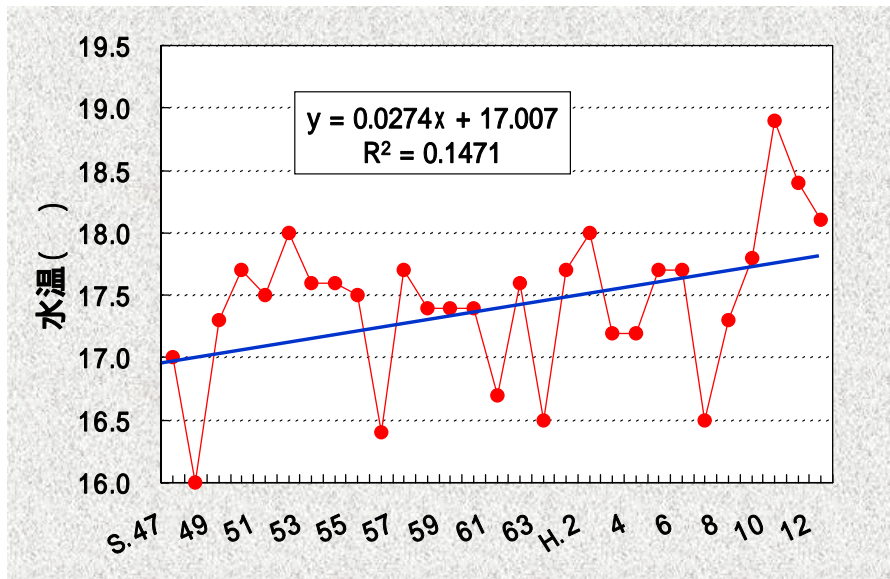
(5 9) 別添資料 59 : 佐賀県のノリ生産量及び柵数の推移



出典：「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
[鬼頭委員(当時)発表資料]

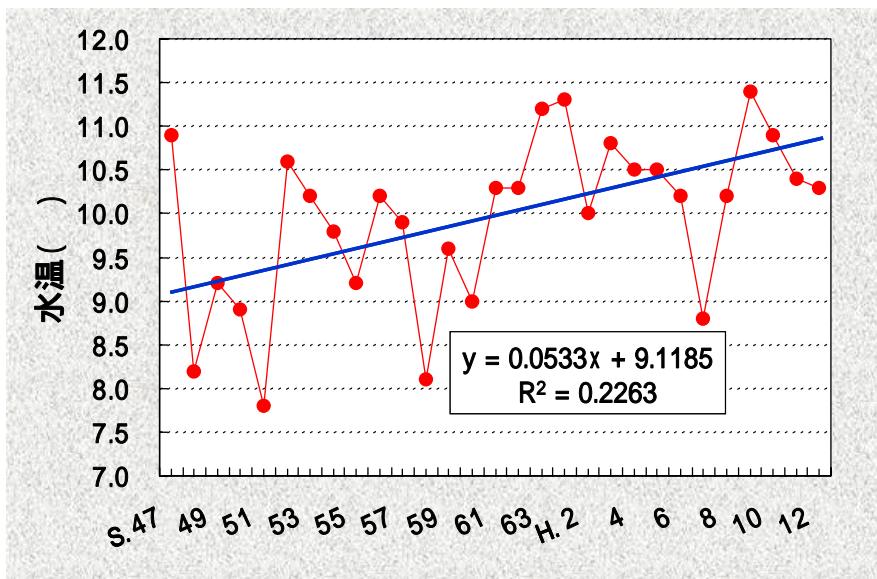
図 61 佐賀県のノリ生産量及び柵数等の推移 (養殖年度)

(6 0) 別添資料 60 : 佐賀県海域における水温の年変動



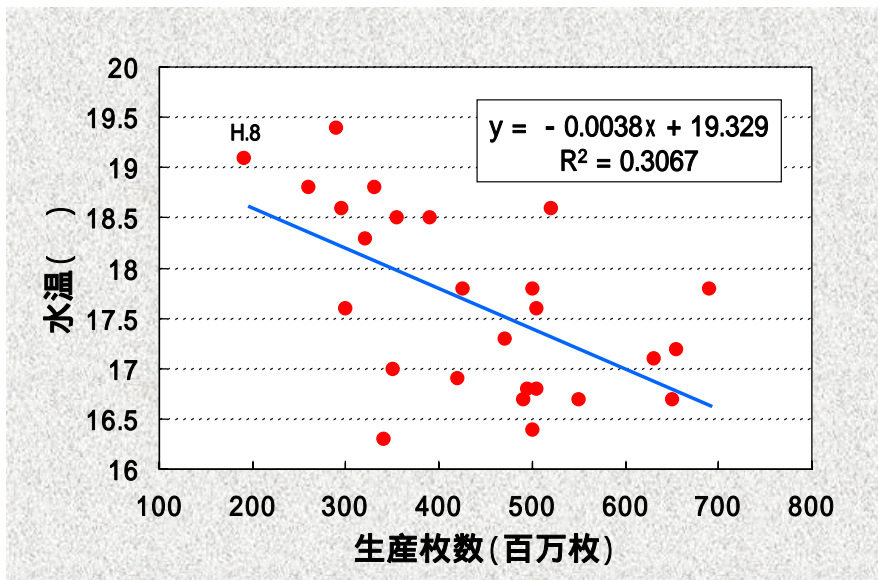
注) 早津江川観測塔における昼間満潮時の平均水温である。
 出典:「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
 [鬼頭委員(当時)発表資料]

図 62(1) 佐賀県海域における水温の年変動: 10~12月



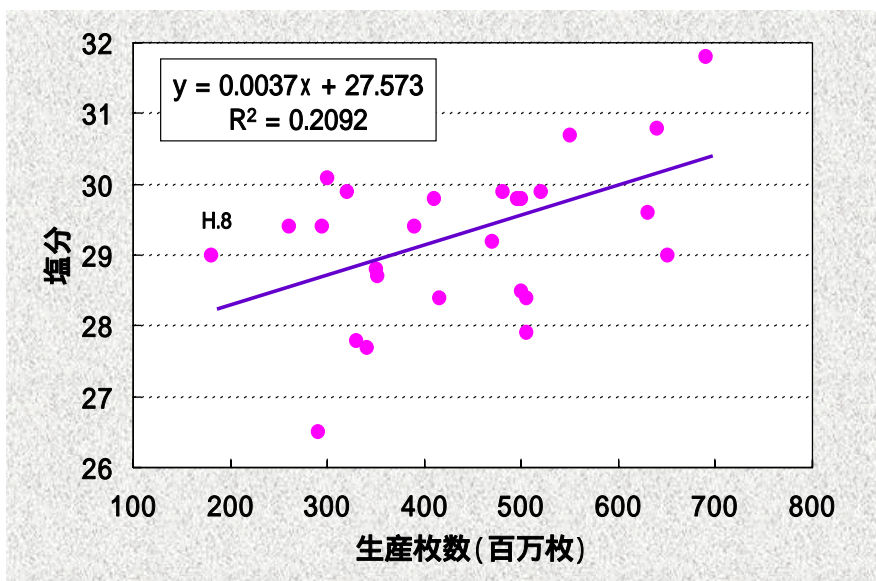
注) 早津江川観測塔における昼間満潮時の平均水温である。
 出典:「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
 [鬼頭委員(当時)発表資料]

図 62(2) 佐賀県海域における水温の年変動: 1~3月



出典：「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
[鬼頭委員(当時)発表資料]

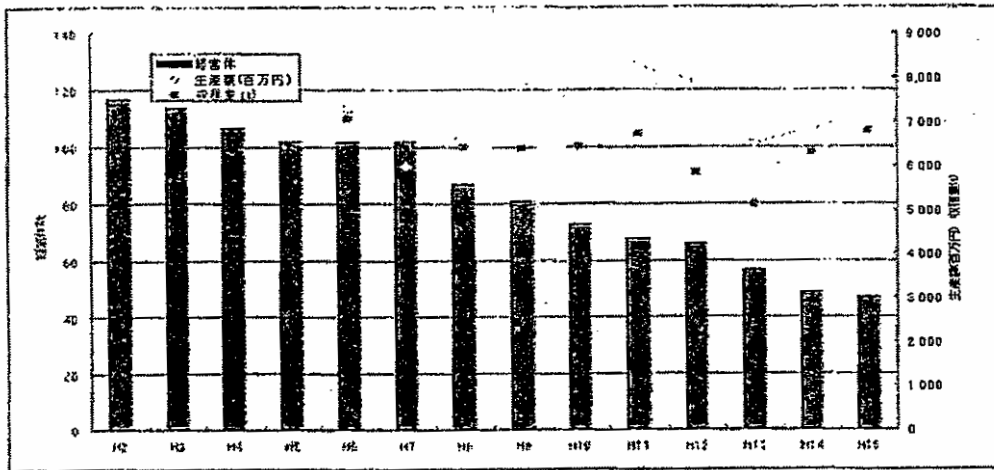
図 62(3) 佐賀県海域における秋芽網期生産と水温との関係



出典：「第6回有明海・八代海総合調査評価委員会」“資料-2 有明海の海苔養殖”
[鬼頭委員(当時)発表資料]

図 62(4) 佐賀県海域における秋芽網期生産と塩分との関係

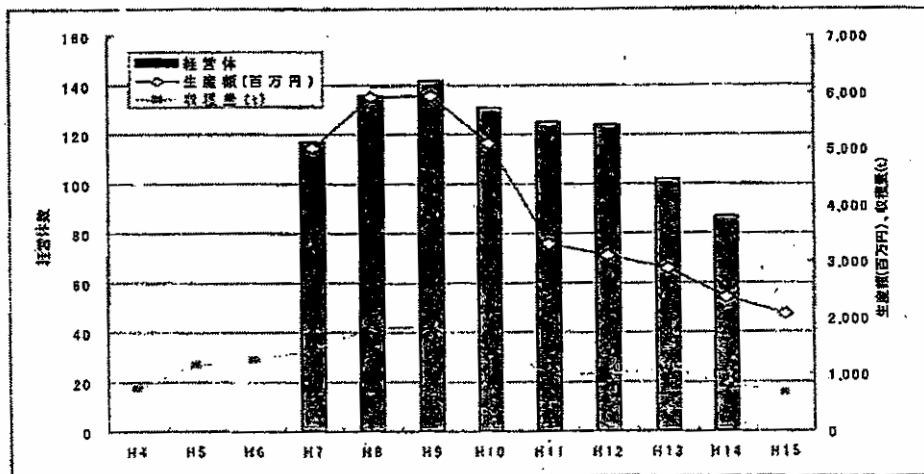
(6 1) 別添資料 61 : プリ養殖収穫量、生産額、経営体数の推移



出典：有明海・八代海総合調査評価委員会 八代海検討グループ資料

図 63 プリ養殖収穫量、生産額、経営体数の推移

(6 2) 別添資料 62 : トラフグ養殖収穫量、生産額、経営体数の推移



出典：有明海・八代海総合調査評価委員会 八代海検討グループ資料

図 64 トラフグ養殖収穫量、生産額、経営体数の推移